

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

○スクールミッション
 総合型高等学校として、夢と自尊心を持ち、堺伝統を継承させながら、普遍的な知識と汎用的技能を総合的に身に付け、時代の変化に合わせて積極的に社会に参画し、論理的思考力と倫理観を持って新しい社会を創造していく資質を有する人材を育成

○令和5年度 重点目標
 『「夢の実現」に向かって努力する粘り強さやチャレンジ精神をもち、使命観や倫理観を備え、夢をかたちにする創造力を育成するとともに、より高い進路目標を達成するように学校組織としての教育力をさらに向上し指導する。』

確かな学びの現状
 本校は「サイエンス」「機械材料」「建築インテリア」「マネジメント」の4つの専門学科があり、各学科の生徒が互いに切磋琢磨しながら、自己の伸長をはかっている。進学においては一般入試の4年生大学合格者数が増えつつあり、特にサイエンス創造科上位の生徒は、大学入試センター試験を受験して国公立大学に挑戦している者もいる。高校卒業時には99%の生徒が進路を決定し、特に学校紹介による就職希望者においては決定率100%を維持し続けている。

豊かな心・健やかな体の現状
 社会に出て通用する人材の育成をモットーとし、特に「基本的な生活習慣」「マナー」「身だしなみ」の指導を重視しており、これらについては来校者からも一定の評価を得ている。地域貢献の観点から地元地域、教育委員会等に施設貸出を積極的に行っている。また、地域のイベント等にも生徒会やクラブ員が積極的に参加している。在校生の約70%が堺市立中学校出身であり、今後も堺市立の唯一の高等学校として、地域に密着した学校をめざす。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～〇月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学力の向上	希望する進路先に合格できる学力をつける	希望する進路に決定した生徒の割合および分析 一般入試での大学合格者数の増加及び学習のサポート	卒業時、全員が進路決定できることをめざす	キャリア支援部からの報告による評価	学年末			
	国際理解教育	国際感覚の醸成	堺ウェリントン青少年交流事業をはじめ諸外国からの訪問受け入れオンラインによる交流などの国際交流事業を充実させる	アンケートの「国際交流が盛んにおこなわれている」において、満足度7割以上	国際交流委員会からの報告により評価	学年末			
	専門性の向上によるブランド力の強化	高大連携、企業連携、堺市を核とする諸施設・諸団体との連携 学校内外において高度な専門知識・技術・技能を習得させる	「国際科学オリンピック」「科学の甲子園」や各大学・研究団体等のコンクールへの積極的な参加 専門性の高い資格取得や検定への挑戦	各種コンクール等における入選 検定合格者・資格取得者数(延べ人数)を昨年より増加させる	学科長からの報告による評価	学年末			
	進路実現	四年生大学指定校推薦枠を確保する 多くの求人数を確保し就職を希望する生徒の進路を保障する	大学入試センターからの情報収集 指定校推薦枠の増加 企業採用部署との密な連絡 求人数及び内定数による企業分析 生徒・保護者年度末アンケート結果の分析	進路指導に対しての生徒及び保護者の肯定的評価の割合8割以上(年度末アンケートによる) 就職試験の一次内定率90%以上	キャリア支援部からの報告による評価	学年末			
	授業改善	生徒が主体的・対話的な深い学びに向かう授業を探索し、学力の向上を図る	教師間による授業公開を年2回実施	アンケートの授業満足度8割以上	担当者からの報告による評価	学年末			
豊かな心・健やかな体	基本的な生活習慣の確立	教職員が登下校指導や授業開始時などの挨拶を継続して行う 自ら挨拶ができる生徒を育てる 日常生活ルールを身につけさせる	自ら挨拶ができるよう生徒への啓発 朝読書の定着率、遅刻者数、懲戒件数の改善に向けた検討・分析 生徒・保護者年度末アンケート結果の分析	生徒全員が来校者、教職員に対して自ら挨拶ができる 朝読書全クラス完全実施 遅刻者数1日当たり3名未満 生徒指導に対しての生徒及び保護者の肯定的評価の割合8割以上(年度末アンケートによる)	学校生活部からの報告による評価	学年末			
	いじめ防止対策 家庭との連携	いじめの未然防止および組織的対応 学年団組織の強化	教育相談体制の強化(SCだけでなく教員も相談の窓口となる) 人権通信「こころ」の発行 学年主任を中心とした学年団のチーム力を強化 問題事象に対して学年として取り組む体制を構築	年3回実施のいじめアンケートからいじめの事案が出てくることを未然に防ぐ。 保護者アンケートの「保護者と連絡を密にとってくれる」の肯定的評価5割以上。	学校生活部からの報告による評価	学年末			
	教職員の働き方改革への取り組み	教職員の時間外滞在時間の減少	ノークラブデーの定着 定時退勤日の習慣化 月平均時間外滞在時間の改善	教職員の時間外滞在時間減	出退勤システムの数値による評価	学年末			
堺高校の認知度の向上	説明会の開催	認知度の再構築を図るため広報活動の重要性を教職員が認識し積極的に説明会や行事等に参加する	各種説明会及び各中学校単位の説明会への参加 オープンスクール、学校説明会、個別説明会の参加の呼びかけ	入学者選抜において第一志望だけで4学科とも募集人員を上回る 中学生のべ参加者数名450名以上(昨年度407名)	担当者からの報告による評価 総務部からの報告による評価	学年末 学年末			
	ホームページの充実	本校における授業風景や各学科の特色ある様々な取り組みを発信し知名度を上げる	各教員が授業・行事ごとに記事を作成し頻繁に更新を行う	1日あたりの平均閲覧数300件以上(昨年度320件)	担当者からの報告による評価	学年末			
	地域連携	縦につながる教育の実施 地域の活動等への参加	幼・保・小・中との連携活動 参加行事(授業参観、体育祭、文化祭への参加など)の機会を設定 地域の各種イベントへの積極的な参加	近隣の子ども園・小学校との交流 堺シティマラソンや仁徳稜をまもり隊等への参加 市内中学校進路説明会への参加などの昨年度実績を上回る	担当者からの報告による評価	学年末			

校長より(年度末) _____

学校関係者評価者から(年度末) _____